



雪化粧

12日、13日と山歩きに行ってきました。

12日 晴れ **千が峰登山**

メンバー・・・加藤一雄 大塚賢一 轟裕彦

千が峰>約1000mの標高ですが、ちょっと期待はずれの雪の少なさで、これではまだまだ峰山でのクロカンスキーはお預けと思った幸いです。

しかし、この千が峰は10年ほど前にMTBを毎年1月15日に担いで登り、下りはいつも雪だるまになって下ったのを懐かしく思い出しました。またトライアルバイクで登って登山者に少なからずもひんしゆくを受けたのも懐かしい山です。でもこの度は三谷溪谷方面からの登山経路でとてもMTBを担いでのルートとは違い急登の連続でおまけに木の階段で疲れるルートでしたがやっぱり、登山に来ていると実感でした。山頂付近は雪が3cmほど積もっていて・・・もう少し期待をして

いたのだが・・・。山頂から見る景色は低山にも関わらず360度の展望で澄み切った日には明石大橋も見えると標識が上がっているのには驚いてしまった。山頂でラーメンタイムを済まして下山であるが、ピストンではつまらなく思い、岩座神(いさりかみ)ルート方面に行くのだが少々道を誤って再び登り返すことになり、杉林の中のバージンスノーの稜線歩きを楽しむこともつかの間で、いよいよ岩座神方面に下山であるが、これがここ最近全く人が歩いた様子が無く、とんでもない急斜面で周りの熊笹をつかんでいなければ真逆さまに・・・小豆転がしならず人間転がしになるほどの斜面で言わずとも3人とも足を滑らせてシリモチを幾度となく着くしまつて、顔を見合わせ「こんなルートは、誰も登らんワ!」と・・・でも明日の大山に備えての心地よい準備運動になった幸いです。

13日 晴れ **大山登山**

メンバー・・・加藤一雄 大塚賢一 轟裕彦 木



倉博

大塚宅 4時出発、帰宅 17時、総費用 12000円

今年一番の冷え込みで姫路の早朝の空も澄み切って星が非常に輝いている。

中国 - 米子経由で横溝下車で駐車場に到着が7時過ぎ。早くも登山者が20人ほど準備にかかっている、しかしその容姿は完全な冬山登山のフル装備の格好が目立つ。我々はまだまだごく軽装で上着なんかは気温3度にも関わらず1枚である、我ながら元気だ！を言うほかないだろう。

登り始めから雪が2cmほど積もっていて山頂に期待して心なしかウキウキ気分である。しかし誰

ともなく「今日はゆっくりペースで行こう！」と・・・、それも雪の大山は初めてで写真やビデオを取りまくりで自然とペースは遅れがちになるのは必死である。大山名物の巨木の杉林やブナ林を過ぎて登って行くがやはり秋より落葉も激しくまた周りが雪の白さも手伝って大木の中にも関わらず非常に明るく、今日の天気と同じである。

6合目付近から12本爪のアイゼンを付けて快調に登って行く。雪もだんだんと多くなり自然にみんな心がハイになってくるのが分かる。今シーズン初めての雪山に足を踏み入れて行くのはなんとも言えない楽しい気持ちである、まるで童心に戻ったようなはしゃぎようで、シャッターを切りまくりである。

1000 m付近から少々ガスがかかってきて風も





出てきたので装備変更で一同にオーバーヤッケを着込むが、今日は北部もピーカン日よりになる天気予報なので、気にしなくて高度を稼いで行く。

大山名物のキャラボク帯に着くとそれはなんとも言い難い景色である。黒と白のコントラストが非常に美しく別世界にいるようである。そして、北には皆生温泉、弓ヶ浜とはっきりと見渡せてまるで「雲上の世界」にいるような錯覚である。

石室で大休止するが、もうそこに見える山頂までのスピードが全然上がらない・・・もう360度にビデオを回し、



シャッターを切り忙しくて足が前に進まないのがある。

11時過ぎに山頂に着き、強風を背中に受けて恐

怖の剣が峰方面、弓ヶ浜を見渡しながらのラーメンタイムである、今シーズン初めての雪溶かし水でのラーメンのダシはなんともおいしい限りである。下界の5~600円もするラーメンとは桁外れのうまさである。



今シーズンはもう2~3mもここに雪が積もれば春の大山山スキーも可能であろう・・・と、ルートを検索して下山した。

